

平成30年度

日常調査報告書
(中間報告)

テーマ

1. 公共交通について
2. 地域経営計画について
3. 財政の健全化に関すること
4. 政策・予算編成に関すること

平成31年3月

高根沢町議会総務常任委員会

総務常任委員会日常調査活動中間報告

平成 30、31 年度の日常調査活動課題として、総務常任委員会は、公共交通、地域経営計画、財政健全化、政策・予算編成に関する 4 項目について調査・研究をしております。

今年度は、公共交通に関することとして、富山市の L R T を軸としたまちづくりを目指しているところであります。取り組みについては、去年の所管事務調査報告のとおりであります。

今後本格化する人口減少や、超高齢化社会への対応、持続可能なまちづくりを進めるため、鉄道をはじめ、公共交通を活性化させ、その沿線に、コンパクトシティー化を図る、つまり移住・商業・業務・文化等の都市の諸機能を集約させることにより、自動車がなくても安心して生活できる都市を目指した事例であります。

当町におきましては、東北本線がはしり、烏山線の乗り入れがあり、国道 4 号線また、高規格道路である 408 号線と、公共交通の利便性の良さは誇るべき環境にあります。いま、宇都宮市と芳賀町で整備が進められている L R T 事業は、芳賀工業団地内、本町の近くまで整備されています。財政的支出等を鑑みれば、いまは『あったら便利、あればいいな』ぐらいな感覚があるかもしれませんが、10 年後、20 年後の高根沢町の将来をデマンドバスと L R T を連携させ、また、J R 宝積寺駅さらには、元気あっぷむらとの連携を図れば、本町の利便性、魅力度、交通弱者対策などの、満足度向上が見込まれるものではないかと感じており、魅力のひとつになると期待されます。

行政規範である『少ない投資で最大の効果』と『将来に向けた制度設計』を観点として委員会としても、今後さらに、調査・研究いたします。

また、日本一面積が小さい自治体ながら、平成に入ってから人口倍増の「奇跡」を起こした富山県舟橋村がどのようにして人口が増加したのか、地域経営計画の人口増加施策等について事例調査いたしました。

人口増施策における、まちづくりの成功事例は、住民主導か民間主導であり、行政主導で成功しているのは 1 か所(長野県下条村)のみということであり、行政の関わり、行政職員の意識改革が重要であります。

今後、地域経営計画の後期分の見直しを図られる予定ではありますが、議会として意見を集約し、この策定にどう関わられるのか、今後さらに調査・研究します。

以上、総務常任委員会の日常調査活動中間報告といたします。